

# 志位委員長 第一声

## 東京都議選

### 香川からもつながり生かして

香川県からもつながりを生かした支持拡大や「声の全戸訪問」が広がる東京都議選は、25日に告示（7月4日投票開票）

香川からもつながり生かして



されました。志位和夫委員長はじめ、党幹部、国会議員が各候補の応援に立ちました。志位氏は、日本共産党が13年と17年の都議選でと議会野党第一党になった力での7年間に認可保育所を1.7倍にするなど、都民と力を合わせて都政を前に進めてきたことを強調。東京五輪について「共産党を躍進させれば、五輪を止める道は開かれる。五輪を注視し命を守れーこの一票を日本共産党に託してください」と気迫を込めました。最後に、都議選の

結果が来る総選挙にも影響すること、市民と野党の共闘を成功させ、日本共産党を躍進させて政権交代を実現し、新しい政権ー野党連合政権をつくりましょう」と訴えると



大きな拍手が沸き起こりました。この模様は、QRコードでご覧いただくことができます。

## 入院ベッドのある塩江分院を迅速なコロナワクチン接種を

日本共産党の岡田まなみ高松市議は、16日の質疑などで塩江分院の入院ベッドのある早期建て替えなどを求めました。岡田市議は高齢者への安全で迅速なコロナワクチン接種に努める」と

大きな拍手が沸き起こりました。この模様は、QRコードでご覧いただくことができます。

（1面より続く） 県平和委員会の榎昭二筆頭代表理事は「日本が核兵器禁止条約を批准しないのはとんでもない。批准を求める意見書も県内では3自治体で上がっている。条約を批准するためにも今の政権を変えよう」と呼びかけました。

20日に愛媛県から香川県に引き継がれ、各自治体ごとにスタンディング宣言や自治体要請を行っ

てきました。7月4日に徳島県境で終結です。24日、県庁で日本共産党の榎昭二、秋山時貞両県議が参加して集会を開くなど、党の地方議員も各地で取り組んでいます。

## 大学前で学生支援 高松市で二カ所目

民青同盟香川県委員会 は24日、高松市の郊外にある大学前で学生支援に取り組みました。高松市では2カ所目。地元に住む有志が手伝いました。有志から提供されたイ

ンスタント食品、日用品、玉ねぎやキュウリなどの野菜が並びました。参加者は学生にアンケートも取り組み「月1万円で食費を抑えている。この提供はありがたい」「オン

ライオン授業で、課題で分からないところが出てきても解決できない」「アルバイト収入が3万円程度減って不安だ」などの思いが聞かれました。藤沢直人県委員長は、「約50人の学生が受け取りに来てくれました。今まで一番多いです。物資はほとんどなくなり、未だ困難な状況が続いている。学生が求める限り続けていきたい」と語りました。



## you気 りんりん

## 白川よう子

四国ブロック国政対策委員長

都議選がスタート。「五輪よりも命を大切に」の声を広げましょう。

は続けていけない林業になっていきます。1次産業をないがしろにし続けている政治のあり方が問われています。

輸入木材の高騰が引き起こしている国産材の高騰、いわゆる「ウッドショック」問題で香川県建設労働組合や森林組合を訪問しました。4月のはじめくらいから木材の価格が一気に2〜3割高くなり、建設現場では手に入りにくい状況に。大手のハウスメーカーなどが買い占めている実態もあり、中小の工務店は死活問題になっていきます。これほどの高値でもかつての原木価格にはほど遠く、何十年も手をかけてきた山主さんたちにとって

今週も四国中を走り回りました。松山市では日本共産党女性後援会の企画に、なんと愛媛県議の武井多佳子さん（無所属）が応援に駆けつけてくれました！マイクを握っ



「白川さんを国会へ」と応援メッセージを語ってくださり、身の引き締まる思いに。来月選挙戦を闘う八幡浜市では、遠藤あや市議や支部の皆さんと賑やかに宣伝行動

徳島市では、集いに参加した女性の方が入党決意をしてくださいます。健康病院前では元同僚やドクターが「医療現場でいっしょに働いてきた白川さんは、私たちの気持を受けとめて国政に届けてくれる人」と訴えてくれました。徳島駅前の方から「演説に聞いた皆さんから、バスを待っていた皆さんから、ぜひ頑張ってください、」の話を聞いて共産党に入れます」と、嬉しい反応が続々。

## 消費税の減税を 各界連が定例宣伝

24日の「消費税廃止各界連絡会」と「なくす会」の行動では、参加者が次のように訴え署名を求めています。要旨を紹介します。

「コロナ禍の影響が続くなか、菅政権は国会を閉会させました。支援を求める多くの国民の声を無視する姿勢は許されません。国や自治体は支援が国民に届かない実態に目を向けるべきです

消費税に代わる財源は不公平な税制を正すことで生まれます。税金の使い方を直すことも必要です。戦間期爆買いや基地建設などをやめて、国民のためにこそ税金を使うべきです。「米軍基地より保健所を」「ミサイルよりワクチンを」「思いやるなら米軍ではなく、国民、中小企業を」の声を一緒にあげましょう。

日本は消費税率が低いから減税できないという意見もあります。しかし、日本と同程度の税率の国でも減税を実施しています。必要なのは政治の決断です。低所得者ほど重い負担になる「逆進性」をもつ消費税を引き下げれば、低所得者の負担軽減につながります。コロナ禍で所得が減少している人を救うためにも必要な支援策です。

消費税の減税などの減税なことを求められる政府が必要選挙が行われます。あなたの声で消費税減税を実現させましょう」



参加者はさらに、「世界で進む消費税減税を日本でも実施を迫ろう」と呼びかけました。

## 好評発売中 月刊「学習」7月号

☆「船橋社会科学ゼミナール 第5回」

志位和夫委員長

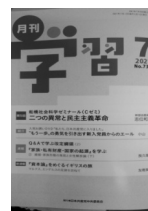
☆「青年・学生の学習と活動を援助する最適のツール」

香川県青年学生対策部長 石田真優

☆新連載 「資本論をめぐるイギリスの旅」 第一回

ひかり書店

087 (834) 7311



このほかに塩江病院の早期建て替えについて岡田市議は「改めて医療などケアに手厚い社会に勝るものはないと認識している。分院は診療所ではなく、塩江住民が切望している入院ベッドのある病院としての建て替えを」と求め、特別支援教育支援員などの抜本的増員を求め、不登校の子どもが通う教育支援センターが、小学4年生からしか受け入れられない問題や、視覚障がい者差別を生む恐れがある県学習診断テストでの問題の取り上げ方についても質問しました。